

釜の仲間 創ろう新しい学校

号外

しごととくらしを

守るちからを

毎週木曜日夜・喜望の家で

夜間学校とは

釜ヶ崎の労働者のひとりひとりが主役となって創り進めていくものとして夜間学校は二年前に開校しました。

「学校」という名前がついているので堅がるしい感じ、行きにくいと思ってしまう人もいます。内身は今までの学校と大分違ったのです。それは、集まって来た仲間が皆んな生徒であると同時に、先生

釜ヶ崎夜間学校

西成区萩ノ茶屋二ノ八ノ十八

喜望の家気行

電話 六四七ノ三九四六
(木曜日夜七時〜九時)

でもあるという、対等な関係の新しい学校なのです。

釜に生きるひとりひとりの仲間、それぞれにいろいろな問題や状況にぶつかりながら生きています。今仕事が少ない朝早くからの仕事探しは非常に厳しいものがあります。例で安い賃金でこき使われんといかんのかという声もいつも聞きます。現場でケガや病気をしたらどうなるか。もう病气やけど金がないのでどうし

よう。このまま年とって体がいうこと聞かなければどうしよう……など。これらは、ひとりの問題と同時に釜のみんなの問題です。これらを具体的に解決していくために、原因はどこにあるのか、どうしたら望ましい方向へ近づけていけるかなど、みんなの経験と知識を打ち寄って話し合い深めていき相互に学び力をつけていくのが夜間学校です。

ふるさと参加を

毎週木曜日夜
七時から九時
喜望の家一階にて

これからのテーマ
仲間意識について

病気を通して
%9
%26

歴史を通して
%2
%9
%6
%23
%36



文集発売中

・オ一集・オ二集

・日雇い便利手帳

次集 (各一〇〇円)

原稿募集中

秋には

いも掘りに行きます。

みんなのひろば